

お花見ウオーク

毎年恒例となったシルバー世代の「お花見ウオーク」を4月6日（金）に桜の名所幸手の権現堂公園で開催した。

参加者は五十嵐・半田（6）・秋山・松田（7）・榎本（8）・村田（10）・結城（11）・山田

（12）・佐々木（13）・鈴木（25）の皆さん。

鈴木さん以外は「毎日が日曜日」の気楽なシルバー世代だが、老人大学やパソコン教室・稽古事・百歳会のテニス・町内会の世話役やボランティア・講演会講師など結構忙しく、短時日の連絡で良く10人も集まったものだ。

東武線南栗橋駅に11時に集合し、延長5kmの行幸湖（権現堂調整池）の櫻堤をのんびりと1時間ほどウオーク。例年桜の開花時期に悩まされるが、今年も3月下旬の冷温で未だ5分咲きで些か残念であった。

程なく鮮やかな黄金色に染まった菜の花畑の後ろに薄桃色の権現堂公園の櫻並木が見えてくる。櫻が満開でなく、やや物足りないが素晴らしい景観である。

権現堂の櫻並木は大正9年（1934年）に6kmにわたって3,000本が植えられたそうだが、現在の櫻並木は昭和24年（1949年）に再植樹され、1,000本のソメイヨシノが1kmにわたって見事に育っている。櫻並木は通常道の両側に植えられているが、ここでは2本の遊歩道を挟んで3列に植えられており豪華さが一層際立っている。

恰好な宴会スポットを確保し、車座になり待ちに待った「花見の宴」の開始。毎回飲み物は各自持参するが、今回は幹事の骨折りで越後の三梅と言われる「越乃寒梅」と「雪中梅」を一人2合宛用意。しかし流石に呑み助の集まり、他に焼酎・ワイン・銘酒×張鶴などが並び驚く。ラーメンや食後のコーヒーのため秋山・佐々木さんがコッヘルを用意してくれたが公園内が火気厳禁で使えず残念であった。冷たいビールで乾杯の後、持ち寄りの摘みで宴会の開始、取りとめのない話題ながら、和やかに和気藹藹と楽しく愉快な一時であった。

帰途はバスで20分程の幸手駅で解散、愉快的仲間との思い出に残る一日であった。

お花見ウオークは平成15年に初めて実施し今年で9回目だが、夏の懇親会及び忘年会、年2回のテニス合宿とともにシルバー世代の恒例行事になった。何時までも続けたいものだ。

良き仲間と交流の場となった麗和会に乾杯！

五十嵐雄造（6）記

次ページに写真があります。

